

# Bermudagrass

## リオ



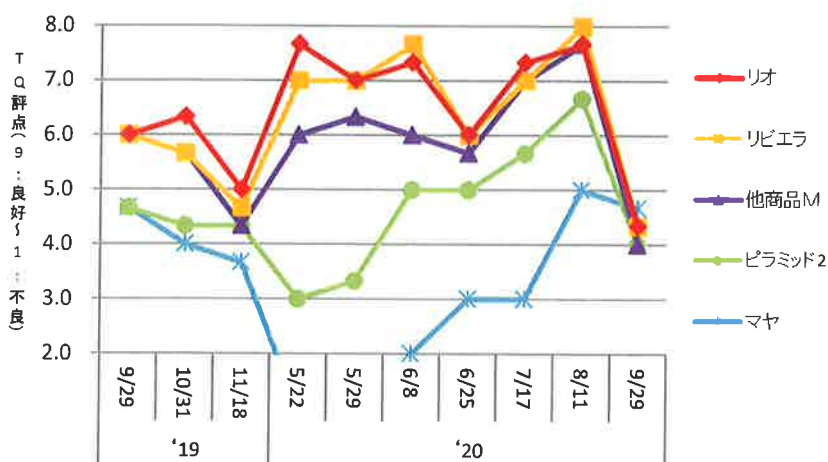
**スポーツターフに適した緻密な芝質 優れた耐寒性で低温期も生育**

**密度・芝質** : リビエラ並みに優れ、高密度なターフを形成する

**春の萌芽** : リビエラ並みに早く、非常に優れる

**秋の緑度保持** : リビエラ並みに優れる

**葉色** : リビエラ並みに濃緑



リオはリビエラ後継品種で、優れた耐寒性を示し、春先の萌芽が早く、バミューダグラスの生育北限での利用に適しています。

NTEPにおいて発芽後被覆に優れた品種の一つとして評価されています。

優れた芝質と擦り切れ抵抗性を備え、濃緑色で、密度の高い芝を形成します。耐干性と耐暑性を有し、さまざまな用途で使用できます。

図 1. ターフクオリティの比較 (千葉市)

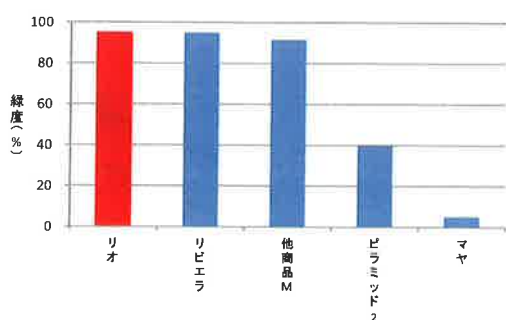


図 2. 春期萌芽良否の比較 (2020年5月22日 千葉市)

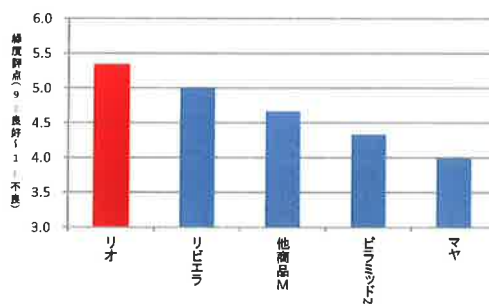


図 3. 晩秋緑度の比較 (2019年11月18日 千葉市)

表 1.NTEP (全米芝草評価プログラム) データ

品種名	発芽後被覆率 <sup>1</sup>	クォリティ 評点 <sup>2</sup>	遺伝的葉色 評点 <sup>2</sup>	春の萌芽 評点 <sup>2</sup>
RIO	92.5	6.2	6.8	5.6
MONACO	91.7	6.3	6.6	5.4
RIVIERA	89.2	6.3	6.6	5.6
PRINCESS 77	87.5	6.0	6.6	4.1
NORTH SHORE SLT	87.5	5.6	6.2	4.3
YUKON	76.7	5.8	6.5	5.0
最小有意差(LSD値)	8.8	0.3	0.6	0.8

2013-2017 NTEP SEEDED BERMUDAGRASS DATA より 評点：1 不良～9 良好

1:ケンタッキー州レキシントン 2:全試験地平均



バミューダグラス ゴビ



バミューダグラス リオ

写真:芝質の比較 (千葉市2020年7月播種8月撮影)

適 応 地 域	東北～九州・沖縄地方	種 子 被 覆 処 理	コート種子
播 種 適 期	4～7月	標 準 発 芽 率	80%
発 芽 日 数	10～12日	標 準 純 度	98%
播 種 量	8～30 g/m <sup>2</sup>	平 均 粒 数	1,800粒/g

\*東北部や本州高冷地など、積雪が無く-10℃以下で凍結する地域では越冬が難しくなります

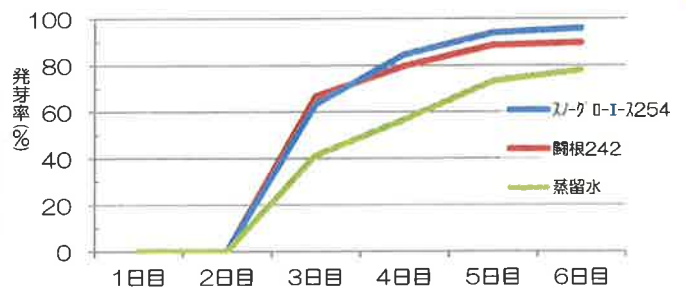
### 発芽後の初期生育をサポートする植物活力資材



MUGO I-254

黒根 242

根ちからアップ  
(種子粉衣)



30℃明8hr-20℃暗16hr 変温、湿度85%、100粒×3反復

図 4.バミューダグラス ピラミッド 2 の発芽率